

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	自宅から近い学校に通わせたい。中学校において学校選択制を設けていただけないか？	現段階では、現行と同じ方針を採る予定である。以前は一部の校区において、距離で学校が選択できたことがあったが、現在は廃止し、お住まいの校区の学校に進学していただくこととしている。地域によっては、他の校区の学校が近いという状況があることは把握している。再編にあたり、既存の小学校区を分割しない、旧市町を跨がないという基準を設けたのは、小学校区が地域コミュニティと密接に関わっているためである。地域が一体となって子どもたちを育てていただくのが望ましいと考えており、地域内で子どもたちの学校が異なるというのは地域コミュニティの活動に支障があるのではないかと考えて、今回の計画を策定している。ただし、説明会を行う中で同様の意見はいくつかいただいております、将来的に学校選択制を採用する可能性が全くないとはいえない。
2	通学路の安全性についてだが、久留米柳川線は道路が狭く、通学する子どもたちを見て心配している。1年生が雨や雪の中歩いていけるのか？スクールバスの導入や通学用道路の整備を考えて欲しい。	私共は再編により適正規模の学校を作ることで、教育環境をより良くしたいという考えで今回の計画案を策定している。再編の最大の懸念は、校区が広くなることである。現在も、子どもの安全を確保するため、学校から危険箇所を報告していただき、立会のうえ可能な限り対応している。例えば、自転車専用路や歩道整備の充実が図られるのが理想だが、まずは子どもたちが多く通る学校周辺を優先して、警察および道路管理者と協議のうえ対応を検討していく。また、スクールバスについては概ね2kmを目安として導入予定である。再編協議会（仮称）で、地域性や道路事情などを含めて協議を行い、子どもたちの安全を第一に効率的な運用を検討したい。
3	昭代校区と蒲池校区だけが義務教育学校になるのはなぜか？この2校区だけ新しい制度に再編されるとなれば、公平性が保てないのではないかと？他の学校も全て義務教育学校にして欲しい。	全ての学校を義務教育学校にするご意見について、私共は基本的には小学校同士、中学校同士での統合による再編が望ましいと考えている。昭代と蒲池の2校区は、今回の再編の基準に照らすと、他の校区との組み合わせが地理的に難しく、小学校同士、中学校同士が合併して、横に広げるのではなく、小学校と中学校が合併することで、縦に広げ9年制にすることで適正な学級数を確保する考えである。加えて、この2校区においては小中学校の校舎が隣接しており、義務教育学校を作るのに適した条件があった。例えば、三橋中に義務教育学校を作るには、小学校部分の校舎の建設や、学校規模が過大になる点が問題となる。義務教育学校は確かに新しい制度だが、全ての面で優れているわけではない。小中同士の統合に比べて学年ごとの人数が少ないため、例えば、部活動の人数が揃わず公式大会に出られない可能性は残る。
	2点目だが、学校再編にあたって、数合わせになっているような気がしてならない。今後、校区によっては、児童生徒数が激減する見込みであり、合併前の旧市町の枠にとられず、校区を崩してでも、夢のある提案を行うべきである。	2点目の既存の小学校区、旧市町にとられない再編をすべきとの意見が出ることに納得できる部分もあるが、現在、小学校の学校運営は校区の皆様に支えられて成り立っている。公民館活動や地域コミュニティ等において校区ごとの組織が多く存在する上、区長会等が旧市町のまとまりで動いている背景があり、それらの関係性を崩さず、維持した方がよいと考えての計画である。あくまで案の段階であり、いただいた意見は持ち帰り検討する。

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
3 つづき	<p>再編の手順に関する考え方はよくわかった。個人的には義務教育学校に魅力を感じており、保護者の中にはそこに行かせたいという方も多いと思う。新しい制度の学校を市民に提案してみるのも、再編にあたっての一つの手段だと思う。また、人口を増やす取り組みも合わせて行っていくべきである。</p>	<p>義務教育学校は新しいスタイルの学校であり、通常の小中学校にない特長があるため、通わせてみたくなる気持ちは理解できる。しかし、義務教育学校は9か年制ではあるが、義務教育課程なので、通常の小中学校と同様の教育指導要領に基づく指導を行い、教育課程に違いはない。部活動に小学生高学年段階から参加できる点に魅力を感じる方がいる一方、昭代校区や蒲池校区の説明会では、義務教育学校では6年生修了段階で卒業式がないという話をしたところ、落胆の声があったのも確か。価値観は人それぞれであり、どちらがよいか一長一短がある。単なる数合わせというよりは、既存校区の組み合わせを考慮して辿り着いた案である。ご理解、ご協力をお願いしたい。</p>